

日本応用藻類学会主催

## 日本応用藻類学会第 18 回大会

### プログラム

1. 開催日 2019年5月11日（土）10：00～17：15
  
2. 会 場 東京都港区港南 4-5-7 東京海洋大学 楽水会館大会議室
  
3. 日 程

9:30～	受付開始
10:00～11:45	口頭発表
13:00～13:50	ポスター発表
14:00～16:00	企画シンポジウム
16:00～17:00	総会
17:15～19:15	懇親会（大学会館生協食堂）

## 日本応用藻類学会第18回大会 企画シンポジウム

### 「陸上植物研究の視点に基づく紅藻生物学の可能性」

**趣旨：**明治時代に本格的に始動した日本の海藻学における分類形態学の網羅的・体系的で膨大な財産は、増養殖システムの構築や人類の健康維持に寄与する機能性の解明を通して有効利用されている。一方で、海藻の基礎生物学研究はあまり進んでいない。特に、紅藻は、陸上植物よりもはるか以前に地球上に出現した初源的な植物であるにも関わらず、緑色植物中心の植物学ではほとんど注目されてこなかったのが現状である。ところが、最近のゲノムおよび網羅的遺伝子発現の解析結果は、紅藻には多くの独自の機能未知遺伝子があり、既知の生合成・代謝・シグナル伝達・遺伝子発現の関連遺伝子がほとんど存在していないことを示しており、紅藻の生物学研究により新規の生理制御機構の存在が明らかとなる可能性が考えられる。しかし、海藻分野では基礎生物学研究に必要な細胞・分子レベルでの知識や研究経験の蓄積が少ない。そのため、この状況の打開には、陸上植物研究が培ってきた考え方や方法論の貪欲な吸収や、陸上植物研究者の海藻生物学研究への参画による先端的な知識や方法論の導入が求められている。

本シンポジウムでは、紅藻を研究材料の1つに用いておられる3人の陸上植物研究者をお招きし、紅藻を扱うに至った背景や研究の方向性を紹介していただく機会を設けた。洗練された方法で生理制御の深い理解を目指す取り組みを学んでいただくと共に、海藻の基礎生物学に興味を持っていただければと期待している。

(企画責任者：三上浩司)

#### プログラム

- 14:00～14:05 S01 趣旨説明  
：三上浩司（北海道大学大学院水産科学研究院）
- 14:05～14:35 S02 Functional analysis of *Pyropia* genes using heterologous systems  
- a case of hunting genes that bestow potassium deficiency tolerance -  
：アダムス英里（理化学研究所環境資源科学研究センター）
- 14:35～15:05 S03 原始紅藻類が示す植物ホルモン研究の新しい可能性  
：森 泉（岡山大学資源植物科学研究所）
- 15:05～15:35 S04 ライブイメージングから探る紅藻の先端成長とオルガネラ動態  
：日渡祐二（宮城大学食産業学群）
- 15:35～16:00 S05 [総合討論]  
：三上浩司（北海道大学大学院水産科学研究院）

## 口頭研究発表・午前（10:00～11:45）

- 10:00 A01 コンブに含まれる粘性物質の呈味性保持効果に関する研究  
○木下康宣・菅原智明  
(北海道立工業技術センター)
- 10:15 A02 スジアオノリ由来酸性多糖画分による血管新生の抑制  
○芦野洋美\*・向井克之\*\*・中島宏\*\*\*  
(\*千葉大・院・医、\*(株)ダイセル・研究開発、\*\*\*(一財)国際伝統医学教育研究  
振興機構・上海中医薬大)
- 10:30 A03 紅藻カイガラアマノリの低塩分耐性候補株の特性  
○阿部真比古\*・大柱智美\*・村瀬昇\*・岸岡正伸\*\*  
(\*水産機構・水大校、\*\*山口県水研セ内海)
- 10:45 A04 スサビノリ糸状体の先端生長はオーキシシンによって制御されている  
田谷賢祐\*・入江隆乃介\*・林謙一郎\*\*・○三上浩司\*\*\*  
(\*北大院水産科学院、\*\*岡山理大理、\*\*\*北大院水産科学研究院)
- 11:00 A05 ワカメ幼孢子体の生長及び付着器形成に対する光波長の影響  
岡直宏\*・○山室達也\*\*・村瀬昇\*\*\*・浜野龍夫\*  
(\*徳島大院水圏教育研究センター、\*\*徳島大院総合科学、\*\*\*水産機構・水大校)
- 11:15 A06 スジアオノリの生長に対する日長の影響  
岡直宏\*・○岡本裕太\*\*・小川颯太\*\*・斎藤稔\*・浜野龍夫\*・團昭紀\*  
(\*徳島大院水圏教育研究センター、\*\*徳島大・生物資源)
- 11:30 A07 海藻付着基としての繊維素材の評価  
岡直宏\*・○渡邊立哉\*\*・梅原大智\*\*・浜野龍夫\*  
(\*徳島大院水圏教育研究センター、\*\*徳島大・生物資源)

## ポスター研究発表（13:00～13:50）

- P01 *Coccomyxa* sp.KJ 乾燥粉末由来脂質成分の食事脂質吸収抑制作用  
○友寄博子\*・渥美欣也\*\*・久野斉\*\*・十島就子\*  
（\*熊本県立大学、\*\*株式会社デンソー）
- P02 正常ノリと色落ちノリの比較プロテオーム解析  
河野なつみ\*・○山口健一\*\*・桑野和可\*\*・小田達也\*\*  
（\*長崎大学水産学部、\*\*長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科）
- P03 CO<sub>2</sub>溶解海水を用いた不稔性アナアオサとカイガラアマノリの生長  
○村瀬昇\*・阿部真比古\*・中村悠人\*・新名隆博\*\*・丸山登\*\*・今井剛\*\*\*  
（\*水産機構・水大校、\*\*新光産業（株）、\*\*\*山口大学工学部）
- P04 ワカメ添加高脂肪食が Tau 蛋白質のリン酸化およびβアミロイドの蓄積に及ぼす影響  
○平野拓\*・五味未早希\*・今井基貴\*\*・西川裕美\*・宮内麻織\*・丸山弘子\*,\*\*  
（\*北里大・医療衛生・\*\*北里大・院・医療系研究）
- P05 異なる塩分濃度下でのスジアオノリの生長  
岡直宏\*・○小川颯太\*\*・岡本裕太\*\*・齋藤稔\*・浜野龍夫\*・團昭紀\*\*  
（\*徳島大院水圏教育研究センター、\*\*徳島大・生物資源）